



大阪自然史フェスティバル 2022

シンポジウム

「夢洲・大阪湾岸の水鳥の渡来環境の保全・回復を目指して」

2025 年大阪関西万博の開催地である夢洲の水鳥の渡来地としての重要性を改めて見つめ、夢洲を含めた大阪湾岸のシギ・チドリなどの水鳥の渡来環境をどのように保全し、回復していくかを考えます。(プログラム詳細は裏面へ)

日 時:11 月 20 日(日) 14:00-16:30

会 場:自然史博物館 講堂

参加費:無料 定 員:先着 170 名

主 催:日本野鳥の会大阪支部 <https://wbsjosaka.com>

大阪自然環境保全協会 <http://www.nature.or.jp>

協 力:WWF ジャパン・日本自然保護協会・公益財団法人日本野鳥の会・

IUCN(国際自然保護連合)日本委員会・NPO 地域づくり工房

お問合せ:日本野鳥の会大阪支部 E メール main@wbsjosaka.xsrv.jp

電話 (火・金)06-6766-0500

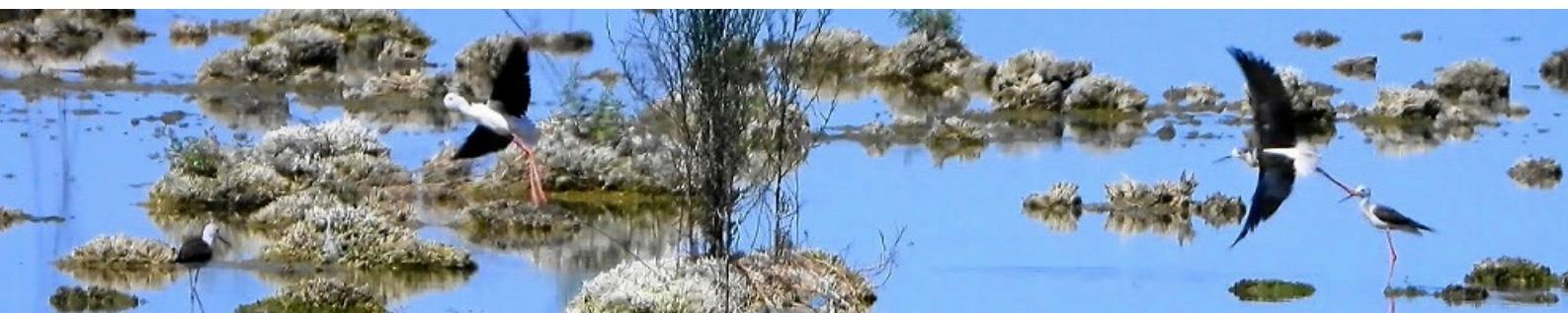
大阪自然環境保全協会 E メール office@nature.or.jp

電話(月・水・金)06-6242-8720

【大阪自然史フェスティバル 2022 シンポジウム】

★ライブ配信あり！ 右の QRコードで！

<https://www.youtube.com/watch?v=uPus7MDLpDw>



★プログラム(14:00 - 16:30)

1. 開会挨拶および夢洲の概要説明

夏原由博さん(大阪自然環境保全協会会長・名古屋大学名誉教授(生態学))

2. ミニ講演(各 25 分)

1)「大阪湾岸のシギ・チドリなど水鳥の現状と未来」

大阪湾岸の水鳥の飛来環境を保全・回復するために夢洲などの埋立途上地がシギ・チドリにとって重要な理由 モニタリングサイト 1000 データなどから
納家仁さん(日本野鳥の会大阪支部長)

2)「シギやチドリなど渡り鳥の保護について」

干潟の生態系の保全、南港の野鳥を守る会の話も交えて
上田恵介さん((公財)日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授(行動生態学・動物行動学・進化生態学)・かつて「南港の野鳥を守る会」の中心メンバー)

3)「湿地・水環境の維持・創設」

人工干潟の失敗例などの紹介
高田直俊さん(大阪自然環境保全協会前会長・大阪公立大学名誉教授(土木工学)
かつて「南港の野鳥を守る会」の中心メンバー)

4)「自然環境政策の動向と大阪湾岸の生態系保全・回復への期待」

国家戦略の見直し、生態系回復の 10 年、30by30、関西万博有識者検討会の話題など
渡辺綱男さん(IUCN(国際自然保護連合)日本委員会会長
(休憩))

3. パネルディスカッション(15:55-16:30)

「夢洲を含めた大阪湾岸の水鳥の渡来環境をどのように保全・回復していくか」
コーディネーター:納家 パネリスト:夏原・上田・高田・渡辺(順不同・敬称略)

大阪自然環境保全協会は、2019 年度より 3 年間、NPO 地域づくり工房とともに、地球環境基金の助成をうけて、夢洲の生きものの調査を続けてきました。
大阪自然環境保全協会 HP[夢洲の未来の自然環境のために] または、
同時配布する「夢洲の生物多様性を未来に」(第 3 版)をご覧ください。



2022 年度環境再生保全機構地球環境基金の助成で作成しています。

